

なかの生涯学習大学あり方検討会の実施報告について

第1回なかの生涯学習大学あり方検討会を実施したため報告する。

1. 設置経緯

「なかの生涯学習大学の再編の考え方について」(令和3年10月6日厚生委員会報告)をもとに行った区民説明会及び意見交換会にて、区民から様々な意見を受け、「なかの生涯学習大学の再編の考え方及び今後の進め方の見直しについて」(令和3年12月1日厚生委員会報告)では、主な意見と区の考え方を示した。「令和4年度なかの生涯学習大学の開講について」(令和4年3月14日厚生委員会報告)では、「令和4年5月を目処に、なかの生涯学習大学あり方検討会(以下、「検討会」という。)を設置し、検討内容について令和5年度におけるなかの生涯学習大学の再編の考え方に取り入れる」としていたことにより、令和3年度に示した主な意見と区の考え方をもとに現状の課題と今後の方向性について整理し、検討会にて検討することとした。

2. 検討会委員構成

学識経験者、なかの生涯学習大学在校生(各学年運営委員会委員長・副委員長)、卒業生、社会教育主事(区民部区民文化国際課、教育委員会事務局兼務)、所管課長(地域支えあい推進部地域活動推進課) 計14名

3. 第1回検討会(令和4年9月8日開催)の実施内容

なかの生涯学習大学の「中野区の歴史や特色を学ぶとともに、地域での活動に向けた知識や技術を高め、学びを通じた仲間づくりを進める」方針を継続し、検討を進める。

(1) 現状の課題

- 減少傾向にある新入学生の増加促進、中途退学者の抑制
- 卒業生の活躍の場の創出
- みんなで作り上げる持続可能な運営体制の構築

【課題解決に向けた取組】

- ・前年度に示していた「選択制コース設定(案)」「2年間進級制(案)」の見直し
- ・受講生のニーズにあったプログラムや講座の実施方法等への見直し、改善
- ・魅力や良さを引き継いだ生涯学習支援、地域での活躍支援の充実
- ・卒業生の活動紹介、なかの生涯学習大学への卒業生の関わりづくり

